

1 年を振り返って(全国学力・学習状況調査をもとに)

平成 26 年度も残りわずかになりました。日頃から本校教育にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

今年度の 4 月に 6 年生の児童を対象に全国学力・学習状況調査が行われました。全国学力・学習状況調査では、小学校 6 年生では国語、算数の 2 教科と、生活状況について児童にアンケートを取る児童質問紙の調査があります。国語、算数については、A 問題(主に「知識」に関する問題)と、B 問題(主に活用に関する問題)があります。

その結果を考察し、学校での対応を考えることにより、今後の園和北小学校の児童の学力向上に努めていきたいと考えています。

1. 国語について

- ・正答率は全国平均に比べて低い。特に B 問題が低い。
- ・全体的に無回答が多い。特に、短答式・記述式の問題が多い。
- ・読む力、書く力に課題がある。

2. 算数

- ・全国平均に比べて低いが、国語より差は少ない。
- ・基本的な計算については、正答率は全国並みである。

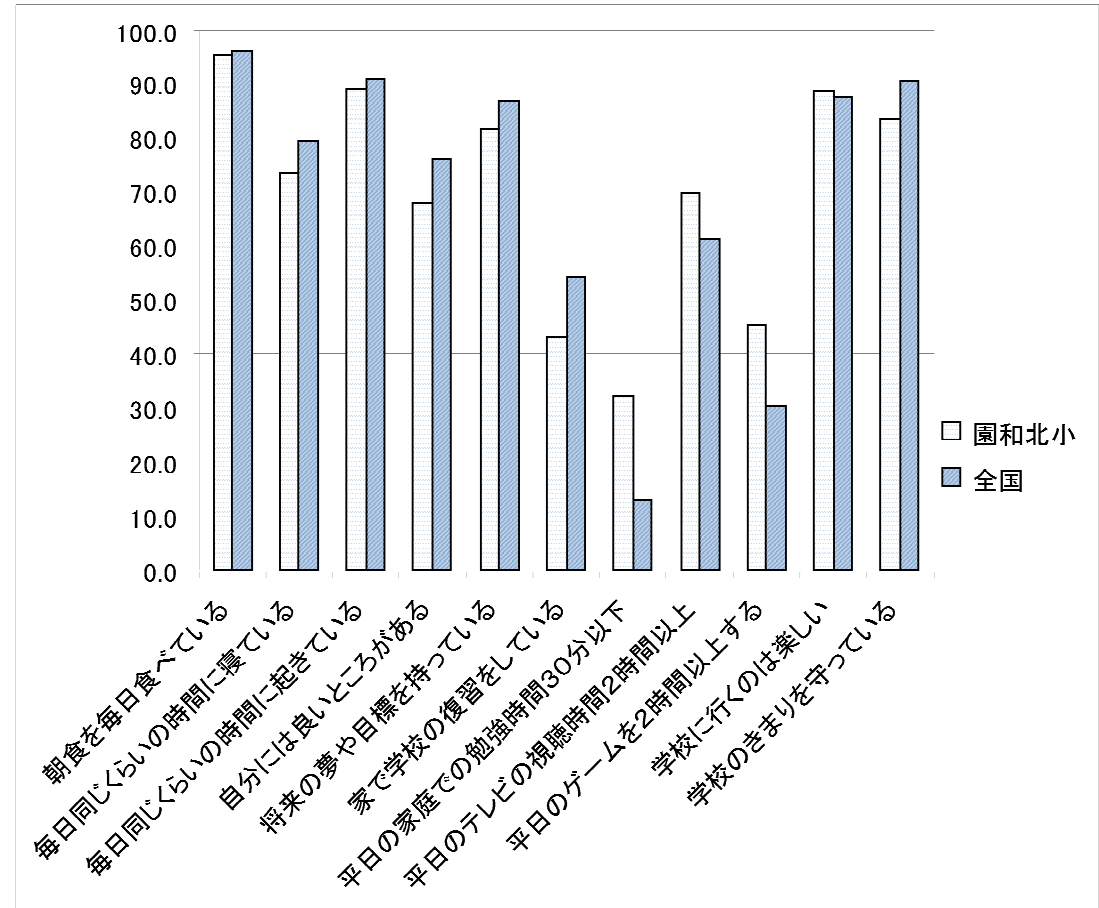


- ・図形・円・立体図形に課題がある。(A 問題)
- ・理由や求め方の説明の記述に課題がある。(B 問題)

3. 児童質問紙について

- ・家庭での暮らしは、規則正しい生活をしている児童が多く良好である。
- ・テレビの視聴時間、ゲームをする時間が全国平均に比べて長い。
- ・家庭学習の時間が短く、まったくしない児童も多い。
- ・自分に自信を持っていない児童、将来の夢を持っていない児童の割合が高い。
- ・学校のきまりを守っている、人の気持ちがわかりいじめはいけなと考えている児童の割合は、全国に比べて若干低いものの多くの児童がそう考えている。
- ・学校に行くことが楽しいと感じている児童の割合は高い。

児童質問紙より



全国学力・学習状況調査から考察できる、園和北小学校の児童の実態については上記のとおりです。学力向上については、

- ・授業を大切にし、めあて・ねらいを示すとともに、終わりには振り返りを行う。
- ・書く力を伸ばすために、授業における「書く」活動を重視する。
- ・教室の掲示物を工夫する。
- ・宿題を学年で統一して出すとともに、徹底して提出させる。
- ・読書活動を充実させる。

等、学校全体で統一した取り組みが必要であると考えています。

また、生活の状況については、自分に自信を持っていない児童が多いので、いろいろな場面で、子ども達のよいところをほめ、子ども達の居場所づくりに努めることにより、楽しいと思える学校づくりをしていきたいと考えています。

また、携帯・スマートフォンを所持している児童も増えてきており、トラブルも予想されます。所持やルールづくりについては、ご家庭の協力が必要になってきますので、よろしくお願いします。